

※今月のみ受注の書目です。

経済学／社会学

ウェルビーイング学 (仮)

理論・エビデンス・実践

(2025 年 9 月下旬刊行予定)

リチャード・レイヤード (LSE コミュニティ・ウェルビーイング・プログラム共同ディレクター)、
ヤン＝エマニュエル・ドウ・ネーヴ (オックスフォード大学教授) [著] /

ウェルビーイング学会 [監修・監訳]

A5 判並製 / 448 頁 税込予価 4,950 円 ISBN978-4-7664-3060-8 C3033

👉 ココに注目!

- ・「ウェルビーイング」の経済分野における第一人者による本格的なテキスト。
- ・心理・脳科学、行動経済学等の基礎知識からデータ分析の最新手法まで網羅。
- ・地方自治体・企業人事部・大学の専門課程まで広く参照できる。

国連の「世界幸福度レポート」から内閣府による生活の質・幸福度調査、各企業における社員の幸福度向上の試みまで広く注目され基礎教養になっているウェルビーイング。その日本での中心となるウェルビーイング学会の監修のもと、日本版だけの特別な編集がなされた本邦初の本格的な体系的テキスト。

対象 研究者 (院生以上)、政策立案に携わる自治体の職員

類書 ブルーノ・S・フライ『幸福度をはかる経済学』(NTT 出版)

【営業部からのおすすめポイント】

ブータンの GNH (国民総幸福)、OECD が公開した「より良い暮らし指標 (Better Life Index)」など、2010 年以降国内でも紹介される機会が増えたことにより、ウェルビーイングに関する研究や地方自治体の取り組みが本格化しています。また、国内各地で「ウェルビーイング」を冠する教育機関も増えつつあり、今後ますます定着していくと予想されます。本書は経済学を中心に研究していますが、社会のあり方を「幸福」から考え直したいすべての人に届けたい 1 冊です。

(吉川)

👉 主要目次、注文書を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【主要目次】

日本語版序文

序文と要約

第Ⅰ部 ウェルビーイングの事例

- 1 主観的ウェルビーイングとは何か？
- 2 社会の目標としてのウェルビーイング

第Ⅱ部 人間の本性とウェルビーイング

- 3 私たちの行動がウェルビーイングに与える影響
- 4 私たちの思考がウェルビーイングに与える影響
- 5 私たちの身体。私たちの遺伝子とウェルビーイング

第Ⅲ部 経験はウェルビーイングにどう影響するか

- 6 ウェルビーイングの不平等：いくつかの基本的事実
- 7 ウェルビーイングを説明するツール
- 8 ウェルビーイングの説明 最初の探求
- 9 家族、学校、ソーシャルメディア
- 10 健康と医療
- 11 失業
- 12 仕事の質
- 13 所得
- 14 地域社会
- 15 物理的環境と地球

第Ⅳ部 政府とウェルビーイング

- 16 政府はウェルビーイングにどのように影響するか
- 17 ウェルビーイングは投票にどう影響するか
- 18 費用対効果と政策選択

解説



ご注文は FAX で！ 03 － 3451 － 3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会 リチャード・レイヤード、ヤン＝エマニュエル・ドゥ・ネーヴ 著／ ウェルビーイング学会 監修・監訳 ウェルビーイング学（仮） ー理論・エビデンス・実践 ISBN978-4-7664-3060-8 C3033	税込予価	部数
				4,950 円	★★★

★1つで「500部」を表します